



横浜市立釜利谷東小学校

9月号

# 学校便り

TEL 045-783-9398

FAX 045-701-9817

令和2年8月31日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

## 短い夏休みを終えて

校長 皆川 誠

暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。7月は、梅雨がなかなか開けず、雨が多く、気温も比較的lowかったので、「新型コロナがなくても、今年は、水泳学習はできなかったね。」と、職員と話していたのを思い出します。それゆえ、例年よりも10日ほど長い授業期間も、それほど苦にはならなかったように思います。

ところが、夏休みに入ると同時に梅雨が明け、一変して連日の猛暑日となりました。今年の変則日程に合わせたかのようなものでした。この暑さは、夏休み明けも続き、学校では、新型コロナウイルスへの対応以上に、熱中症にも気を配らなければならない8月でした。

8月24日からは給食が始まり、今年度の通常授業が本格的なスタートとなります。そこで、私は、年度初めに子どもたちに話したいと考えていたことを、夏休み明けの朝会で話すことにしました。

それは、「あいさつ」に関することです。昨年度、私は、「あいさつ」を一番大事にしてきて、いろいろな場面で子どもたちへも投げかけてきました。その結果、年度末の頃には、目と目を合わせてあいさつをする子、お辞儀をしながらあいさつをする子、わざわざ近くに来て挨拶をしていく子など、気持ちのよいあいさつのできる子が増えました。これを土台に、さらにステップアップを図ろうと考えていた矢先に、新型コロナウイルス感染症の拡大による臨時休校となり、この時期へとなくなってしまいました。

私が話したことは、「いつでも」と「先に」です。朝のあいさつに限らず、知っている人と出会った時は「いつでも」、自分から「先に」あいさつができれば、素晴らしいですし、された人はよい気持ちになることを話しました。

その日は午前授業だったので、昇降口で子どもたちを見送っていると、7月よりも多くの子どもたちから、先に「さようなら」のあいさつを受けました。朝話したことが、帰りには具体的な姿で見られたことがとても嬉しく、本校の子どもたちの素晴らしさを改めて感じました。

さて、新型コロナウイルスの新規感染者は、依然高い数字を維持しています。神奈川県でも、7月17日に発出された「神奈川警戒アラート」は、まだ解除されておられません。このウイルスに関しては、分からないことがまだまだ多く、手洗いや「3密」を避けるなど、この先も、決して油断することはできません。

それゆえ、本校でも、今後の予定を裏面のように変更させていただきます。子どもたちにとって残念な部分も多々あると思いますが、感染拡大防止のための変更であることをご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。